

冬の青少年健全育成大会を開催

平成17年度冬の青少年健全育成大会が12月19日、村公民館多目的ホールで開催されました。

大会には、村青少年育成推進員や各学校のPTAら約100人が参加。講話やそれぞれの活動発表が行われました。

「子どもを犯罪から守るために」を演題に講話を行った小林警部補は「今は、



熱心に話を聞く参加者



講話を行う小林警部補



抱負を述べる吉澤校長

どこでも簡単に情報が手に入る時代。昭和村も例外ではありません。有害な情報から子供を守ることも必要です」と力説。また、地域のパトロールについても「警察と地域が連携してパトロールを行っている地域もあります。警察の力だけでは足りないので、地域の人の手助けが必要になってきます。子供たちのために協力してもらいたい」と参加者に訴えていました。

昭和中学校の吉澤校長は、冬休み中の生徒指導と、学校が行っている安全を守る取り組みについて発表。「子供が自分で自分の身を守るように、危機回避能力を養えるようにしていきたい」と抱負を述べました。

中国人研修生・実習生90人が帰国

村国際農業交流協議会(金子啓一会長)の中国海外農業研修生・実習生送別会が11月27日、村公民館多目的ホールで行われました。

参加したのは、研修生と受け入れ農家、関係者などおよそ200人。

金子会長は式典の中で、「研修生の皆さん、慣れない土地での研修生活ご

うさまでした。中国に帰ってからもこの経験を生かしてがんばってください」と研修生たちを励ましていました。

この後、研修生の中から優秀者・優秀宿舍が、それぞれ表彰されました。

なお、今年度来村した研修生のうち32人は、実習生として来年も同じ受入農家の元で農業経営を学びます。



式典の様子

子育て保育園で 新園舎の起工式

子育て保育園園舎新築工事の起工式・安全祈願祭が12月2日、入原地区内の建設予定地で行われました。

式には、加藤村長を始め、地元地権者や同保育園の関係者ら約50人が参列。厳粛に行われた式の中で、工事の無事故と立派な園舎の完成を祈りました。

総工費は2億1、105万円。12月から工事が始められ、7月には、鉄骨造平屋建て、延べ床面積933㎡の新園舎が完成する予定です。



厳粛に行われた起工式



グラウンドをしっかりと整備

野球連盟が野球場のグラウンド整備

村野球連盟（飯塚昭雄部長）では12月11日、村野球場のグラウンド整備及び周辺のゴミ拾い・落ち葉拾いを行いました。参加者は、連盟に加入しているチーム



周辺のゴミを拾うスポーツ少年団員



周辺道路もきれいに

のメンバー。約140人が集まりました。参加者たちは、手際よく作業を実施。約2時間の作業でグラウンド周辺はきれいな姿を取り戻しました。

飯塚部長は「すばらしい村の野球場をより多くの人に活用してもらおうよう、また、自分たちのホーム球場に対して1年間ご苦労様の感謝の意を込めてこの事業を行なっています。普段からの整備はもちろん、物を大切にする気持ちを持ってたくさんの人に野球場を利用してもらいたいですね」と語ってくれました。

むらづくりINしようわを開催

昭和村講演会「むらづくりINしようわ」が12月5日、役場会議室で行われました。

出席したのは、村内の農業経営者や関係者らおよそ100人です。

開会行事の後、米国JAC ENTERPRISES代表取締役社長の浅野秀二さんが「日本を考える」を演題に講演。自身の経験をもとに、国際的な立場の中での日本のあり方について話しました。浅野さんは「日本人は、子供を管理して苦労させないように育てる。しかし、外

国では苦労をさせて将来の役に立つように育てる。免疫のないような温室栽培の後継者を育成するのではなく、もっと将来のことを考えた育成をしてほしい」と参加者に呼びかけました。

また、村の野菜についても「今は、大きい野菜ではなく、核家族化に合わせた小さな野菜が喜ばれる時代。消費者の立場で、消費者の求めるものを作らなければ利益は上がらない。生産者の立場でものを作ってはいけません」と指摘していました。



講演を行った浅野さん

昭和第4地区が 記念碑除幕式

赤城西麓土地改良事業昭和第4地区の土地改良事業が完了し、記念碑除幕式が12月22日に行われました。

昭和第4地区は、平成2年度から16年度まで県営畑地帯総合整備事業を実施してきました。



立派な記念碑が完成

村職員人事異動

1月1日付▼総務課長：加藤生（議会事務局局長）、▼議会事務局局長：小林勝典（税務課長）、▼保健福祉課主任：関裕子（社会福祉協議会）、1月1日付▼退職：眞下民衛（総務課長）。